

西洋ではギター、東洋では阮咸(中阮)と呼ばれる唯一ピックで弾く中国民族楽器が、宗次ホールに初登場します。

20年以上共演を続けている阮咸(中阮)奏者と中国笛奏者の2人がそれぞれ最高の技術で、古代と現代、そして東洋と西洋の曲を演奏します。現代まで、受け継がれる中国伝統の音色を是非お楽しみに。



裏



表



現代の阮咸

「螺鈿紫檀阮咸」

8世紀=奈良時代、100.4×39.0cm、正倉院宝物)



中国笛

どうしよう てきし

洞簫や笛子の歴史は古く、数千年の昔から中国で愛されてきた楽器。その音色の秘密はなんといっても「笛膜」。芦を薄くそいで作られたヒラヒラの膜を笛に付けて振動させることであの独特な音色が得られている。



沈非 シェン・フェイ (阮咸奏者)

中国四川省音楽協会阮咸学会会長、中国民族管弦楽学会理事 国際翰林文学芸術家連合会、国際阮咸芸術演奏家委員会主席

元中国ラジオ民族楽団阮咸演奏者、中央音楽学院専任講師。2007年特殊人材として四川音楽学院阮咸講師として就任され、現在准教授として次世代の阮咸奏者を育成している一方、中国一流の阮咸奏者として国内外で名を知られ、国家元首や国王の前で演奏する多くの国際サミットや音楽祭にも出演している。



劉一 リュー・イー (中国笛奏者・作曲家)

上海音楽学院附属小学校笛専攻を経て、上海音楽学院附属中学校から大学笛専攻に進学し、優秀な成績を修め卒業。同年上海民族楽団に入団。1999年から作曲家としても注目を集め、2003年『影の告別』で、中国第一回劉天華奨TMSK中国全国民族音楽室内作品コンクール二等賞(一等賞空白)を受賞。さらに大型交響曲『清、奇、古、怪』を作曲し、シンガポール国家劇場で公演。東儀秀樹率いるTogi+Baoへの参加の他、世界二十か国でソロコンサートやオペラに出演した。

本格的に名古屋市に活動拠点を移し、2010年ブルーノートに出演、BS朝日「中国神秘紀行」ではテーマ曲を演奏した。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com  
宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)